

こんな あそび あるんでえ

今月は『缶蹴り』というあそびです。

家の近くに空き地があり、数人の子が集まり夕暮れまで「缶蹴り」をして遊んでいました。上級生が鬼になることが多く、鬼になりたくない私はいつも隠れる側でした。缶蹴りの楽しさは鬼との駆け引きです。隠れている時も見つからないかというドキドキする気持ちもあります。鬼になる子の性格や一緒に隠れる子の気持ちでその都度作戦が変わって来ます。鬼から離れて息を潜めて隠れ、缶を蹴りに行くチャンスを伺ったり、“いまだ！”と思って思いきり出て行き缶を蹴ろうとすると、どこからか鬼が戻って来たり、鬼との駆け引きはいつも予期せぬことが起こるのでそれがまたこのあそびの楽しさでもありました。ルールは遊びながら学び、みんなで守る、だからこそ夢中になったあそびだったのだと思います。傷んだ空き缶を見ると妙に懐かしく、幼い頃に遊んだ友だちのことや集まった空き地のことを思い出します。高原 泉

もちつき

1月12日にもちつきをしました。3年ぶりの開催ということもあり、保育者が準備していると「楽しみだな」「早くやりたい」などの声が聞こえました。最初はぎこちなさがありましたが、友だちの「よいしょー！」というかけ声に合わせて、もちつきを楽しんでました。自分でついたもちはおいしかったようで、たくさんおかわりをしており、大きいクラスの子から「給食食べずに、おもちでおなかいっぱいする！」と言う子もいて、思わず笑ってしまいました。こどもたちにとって良い経験になって嬉しく感じました。



…バナナ生長日記…

外のバナナは枯れたようになっていますが、モンキーバナナは部屋の中で冬を越します。暖かくなって実のなる日を願って、毎日見守っています。



玄関で花をつけているのは、蘭の一種でシンビジウムです。ビニールの中です寒さにも割と強く、冬は室内に入れておけば大丈夫です。夏は半日蔭で大丈夫、と案内育てやすいです。やってみようと思う方、お分けします。



2月

- 2(木) 園公開
- 3(金) 誕生会
- 16(木) 避難訓練
- 27(月) 新入園児説明会

3月

- 3(金) 誕生会
- 8(水) 卒園旅行(5歳児)
- 10(金) 健脚活動⑤
- 13(月) 避難訓練
- 20(月) 卒園式(5歳児) 修了式(1号認定児)
- 22(水) 春休み(1号認定児)
- 29(水)～31(金) 自由登園

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.71



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。
<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和5年2月1日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086(956)2022
FAX 086(956)2023

「同じ目線に立つ」

今年度もあと二か月となりました。はな組のこどもたちは目に見えるところでも、心の面でも成長がとても早いです。四月を思い出すと、「すごく大きくなったなあ」と思います。そのことを保護者の方と共有できてとても幸せだなと感じながら日々を過ごさせてもらいました。

私は、はな組のこどもたちのズリバイをする時やハイハイをする時にできるだけ一緒にしてみます。そうすることでいつも部屋にある棚がとても大きく見えることに気づきます。また同じ目線になった時、目が合いほほえむ姿に、より一層愛おしさを感じます。移動の際も全て一緒にハイハイで移動をするととても疲れてしまい体力を使います。

先日は息子の習い事で親子サッカーがありました。私は広いコートの中を走るだけでくたくたになってしまい、ボールが来ても思うよう蹴れず空振りをしてしまいました。その姿を見た息子に「いつも僕にこうした方が良くって言うけど、なかなかできんじゃろ？」と核心をついたことを言われてしまいました。

「一緒に過ごす人の目線や立場を考えてごらん」と子育てする中で我が子に言ったことがあります。口で言う事は簡単ですが、それが実際にいつでもできるかと言われると「そんな時ばかりではないなあ」と反省ばかりです。私自身、一緒に時間を過ごす人が、私のことを理解しようと感じた時は「嬉しいな」と思います。保育でも同じ目線に立って気持ちを通わせながらこどもたちとの時間を過ごしていきたいです。

下野 祐佳



とんど焼きをしました。『1年元気に過ごせますように』と、顔に炭をつけ、記念にパチリ☆

冬のあそび

そら組

クリスマス会でサンタクロースからもらったプレゼントは『こま』でした。早速休みの間に「家でお家の方と遊んだ」と言う子も多く、園でも楽しんでいきます。『MY こま』は自分で色を付けてお気に入りです。

しかし、回すとなると一苦労。紐を巻くことから始まり、なんとか巻けても、すぐほどけ、やっと投げてみるものの…と失敗続きですが、回せるようになった子にコツ聞いたり、手本にしたりして「あの子のように回したい」と頑張っています。真剣に取り組む表情に「がんばれ！」と応援せずにはいられません。



ほし組



なわとびを始めました。冬のあそびというわけではないですが、なわとびをすると冷えた身体もポカポカ温まります。“まわしてとぶ”を意識していざやってみようと思いますが、縄が足に引っかかると「できん」と弱音がこぼれていました。しかし、そこで諦める子どもたちではなく、縄を回す手は止まりませんでした。何度も跳んでいると着ていた上着も脱ぎ「あつい」と言うほど楽しんでいます。何度も挑戦する姿が素敵だなと思いながら見守っています。

つき組

雪あそびをしました。こどもたちは、真っ白の園庭に大興奮で少し雪に触れてみると「つめたーい！」と声が上がっていました。少しずつ触るうちに「ゆきだるまつくってみる」「なげるぞ」と楽しんでいます。足跡が付くだけでなく、手形をつけることも楽しかったようです。



ゆき組

『こすれ こすれ』という触れ合いあそびをしました。友だちの背中をこするために後ろへどんどん連なり「♪こすれ～こすれ～こすこすれ～」の、うたに合わせて手を動かすと、友だちの背中も自分の手もポカポカと温かくあります。うたのメロディも覚えやすいようで「せんせい、こすれ～♪しよう」と何度もリクエストがあります。



にじ組

寒い日ですがこどもたちには楽しみがありました。それは前の日に氷作り用に容器の中に水を入れて準備をしていたからです。朝、こどもたちの方から「せんせい、こおりみにいきたい」と言われ見に行くと豆腐の容器の四角い形やヨーグルトの容器の丸い形などいろいろな形の氷ができて、それを嬉しそうに友だち同士で見せ合っていました。

はな組

ビニール袋にシール貼りをして“my 凧あげ”を作りました。まず保育者が手本を見せると、こどもたちも「やりたい！」と興味を持ち、近づいてきました。早速、走ってみると、袋に風が入り凧があがっています。寒い時期ですが、しっかり外で身体を動かし、強い身体づくりをしていきたいです。

